

口腔ケア講習会のお知らせ (第2報)

飽食の時代と言われて久しい今、食べる事とはいったい何でしょうか？

食事の時間がきたから食べる、本能でなくても食べる。

医食同源と言われる様に、食事と健康は深い関わり合いを持っていると思われます。

食べる楽しみを何時までも持っていられるためには、何が必要でしょうか？

狭義の口腔ケア(口腔内をきれいにする事)だけでなく、広義の口腔ケア(摂食嚥下機能)を充実させる事も重要だと思われまます。

何時までも美味しく食べたい！では何をしたらいいのか、参加者の皆さんと共に考えられる事が出来る講演会にしたいと思ひます。



日時 平成23年8月27日(土) 13・30時~17時
場所 茨城県歯科医師会館 3階 講堂
参加費 無料
主催 一般社団法人・水戸市歯科医師会
共催 グループホーム協議会
後援 茨城県歯科医師会 茨城新聞社
講師 牧野 日和 先生

言語聴覚士、認定心理士

福井医療技術専門学校 言語聴覚学科 卒業

愛知学院大学歯学部先天異常学研究室 博士課程在学中

リハビリテーションカレッジ島根、他非常勤講師

著書 お口の音頭だよ〜ん (DVD、CD)

介護支援専門委員・口ほどモノを言う (メディカルレビュー)

口腔ケア (共著 in press)

今日の治療指針2012 (共著 in press)

講演名 ダメと言われたって「最期まで食べたい」人に効く話

講演要旨 「誰もが、食べられなくなる日が訪れる」

昇った陽は必ず沈む。生を受けたものは、いつしか死の影に覆われ、没していく。誰にも避けられない。死に直面したとき、人は命の限りを実感する。その機会は大変貴重なものである。愛する人の死と直面したときも同様である。往々にして死や悲しみの淵は、生の意味を見出す好機となる。

この講演は、臨床の現場で私が担当した多くの、苦しんだ或いは亡くなっていった「人生の先輩」からのメッセージをもとに作られた。自分らしくありたいと願ひ、食べることにこだわった先輩からの、生あるすべての人に向けたメッセージである。

同時に私は科学の目で食べることを追求していることを宣言したい。昨今の食べるブームは大変歓迎すべきことである反面、実は懸念もある。根拠なく食べることは危険だ。理論なく食べさせることは悪意なき殺人未遂と言わざるを得ない。各地で広告される発表をみると、たまたま成功した一か八かのギャンブルまがいのものが多い。成功には必ず根拠が、事故にも必ず根拠がある。

今回の講演では、いつまでも食べるための科学についても言及する予定である。

問い合わせ及び参加申し込み先

薄井 稔 ウスイ歯科クリニック TEL&FAX 029-248-7164

横須賀 均 横須賀歯科医院 TEL&FAX 029-254-4788

参加申し込み締め切り 8月17日(水)

皆様のご参加をお待ちしております。